

2018年（平成30年）8月10日

輸送動向について（平成30年7月分）

1. 輸送概況

今月は、平成30年7月豪雨及び台風7、12号の接近・上陸の影響等により、高速貨1,655本、専貨29本が運休となった（前年は、高速貨263本が運休）。平成30年7月豪雨の影響で不通となっている山陽線について、トラック・船舶による代行輸送を実施している。

コンテナは、山陽線・予讃線・伯備線が不通となった影響により、すべての品目で大きく前年を下回った。中でも、九州・中国地区に生産拠点を持つ自動車部品、化学工業品・化学薬品、紙・パルプの輸送や九州・中国地区との間での積合せ貨物や食料工業品の輸送が大きな影響を受けた。その結果、コンテナ全体では前年比67.9%となった。

車扱は、石油が6月下旬に価格が上昇傾向となったことに加え、厳しい暑さでガソリンの消費も増加したことから好調な荷動きとなった。またセメント・石灰石が堅調に推移したことから、前年を上回る発送となった。その結果、車扱全体では前年比106.6%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比78.1%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,257	1,852	67.9%	6,667	7,283	91.5%
車 扱	710	666	106.6%	2,570	2,583	99.5%
合 計	1,967	2,518	78.1%	9,237	9,866	93.6%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	79	111	-32	71.4%
	化学工業品	115	179	-64	64.2%
	化学薬品	82	125	-43	65.1%
	食料工業品	252	362	-110	69.6%
	紙・パルプ	150	236	-86	63.7%
	他工業品	96	137	-41	70.2%
	積合せ貨物	153	227	-74	67.3%
	自動車部品	41	73	-32	56.3%
	家電・情報機器	26	39	-13	68.0%
	エコ関連物資	35	47	-12	73.2%
	そ の 他	228	315	-87	72.2%
コンテナ計	1,257	1,852	-595	67.9%	
車 扱	石 油	465	430	35	108.1%
	セメント・石灰石	130	113	17	115.8%
	車 両	69	66	3	104.1%
	そ の 他	46	58	-12	80.2%
車 扱 計	710	666	44	106.6%	
合 計		1,967	2,518	-551	78.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）